

がんばろう 東日本！立ち上がれ 東北！

みんなで集おう！ 全国保育問題研究集会・山形集会！！

「東日本大震災」から 2 週間、岩手・宮城・福島の沿岸部での被害の大きさに圧倒されます。「福島原発」事故の今後の推移も心配されますが、6 月の『全国保問研全国集会・山形集会』は全国の皆さんのご協力準備を進めましょう。

間もなく 4 月、受付も始まりますが、今、年度末のこの時に「震災をはねのけ、被災地の保育者ととも明日の元気を作ろう」と山形集会の事を周りの皆さんと語り合ってください。そして、これまで以上の大きな輪を作り、山形集会で交流しましょう。

特集！「震災」の宮城で奮闘する保育者達の声

(文責：やまがた・あべとう)

桜井ひろ子さん

仙台市中心部の 141 ビルで、ネパールの子もたちの写真展の会場で地震に会いました。ひどい揺れでスプリングラウも作動、あわや作品の写真がすべてだめか・・・と。職員の皆さんの協力で何とか助かりました。6 月の「保問研集会」には元気で参加します。

高田敏幸（ダンッ えんちょう）さん

自宅兼保育園で被災。子ども達と近くの高台へ。夕方、無事に子どもたちを保護者へ。でも、自宅兼保育園は津波で流され、炭焼きをしている親族宅へ。暖はとれるが暮らしが大変。「わらしこ保育園」再建のための募金を訴えている。

大橋巳津子さん

石巻・なかよし保育園で被災。津波のため床上浸水。その日の夕方は迎えに來れない親もいてそのまま数日、園で職員と共に過ごした例も。現在休園中。「運営費補助金について地震以降の休園中の扱いが不安」との声が周囲からあがったが、全国保育団体連絡会から厚生労働省に確認をしてもらい「阪神淡路大震災時と同じで運営費補助金をしっかりだす」事を確認、安心している。

菊地映子さん

保育者OBとして大学講師をしているが、地震の時自宅（亶理町荒浜地区）にいた。すぐ、自宅近くの町立荒浜保育所に駆け込み、保育士とともに子どもたちをおんぶしたり、手を引いて近くの荒浜中学校の校舎3階に避難。津波が2階部分まで。自衛隊のヘリコプターで救助される。今は避難所（亶理高校）での保育をボランティアで行っている。50年ぶりの自転車に乗って避難所を回って安否確認をしている。自宅は全壊。

宮崎憲子さん（川内けやき保育園）

系列の認可園で被災。地震直後急いで保育園に戻る。幸い園舎はどこも壊れておらずそのまま園内で保護者の帰りを待つ。全員お迎えにこられたが家族と連絡が取れない母子2組と職員数人で余震が来るたびに落下防止のビニールシートを広げ避難路の戸を確保しながら夜を明かす。ラジオから次々に入る悲惨な情報が信じられない。翌日から障害児を抱えたご家族が家や避難所よりも安心という事とガソリン、道路事情で帰宅できない数家族と保育園で過ごす。職員がアウトドア用のコンロを持参してくれ、震災直前に栄養士が沢山のレトルト食品や非常食などを購入してくれていて食事に関しての不安がなかった事は大きかった。電気・水道・ガス・電話が全く使えない中、保護者が海外にいる元保護者達とPCで連絡を取り（海外や県外の方が連絡が付きやすかった）保育園の状況を伝え合い、早い段階で物資を届けてくれる、ガソリン情報を入れてくれるなど皆さんが気にかけてくれて本当に心強かった。現在は園児の多くが県外避難をしているため登園児は数名。給食を提供しながら保育を行っている。地震直後は少しの余震・物音で子ども達が職員の後を追う姿があったが、今は落ち着いてきている。

伊藤みち子さん

仙台市「通町学童保育所」で被災。引き続き保育を継続中。市内では岡田・中野・高砂などで学童保育所が壊滅。民間アパートの一室等の所も部屋が使えず、学校の教室で保育を行っている所も多数。宮城野児童館では地域の避難所として24時間対応。このため職員が泊まり込みでフォローしている。学童でのおやつはお菓子だがたまたまストックしていたものを活用。電気が通じてからはお好み焼きなどを楽しんでいる。でも、店に行くと“大根1本千円”“シャンプー1本千円”などもあり腹立たしい。ガソリンがないので自転車で片道45分。住んでいたアパートはイエローカードが貼られ、知人宅で過ごしている。

三浦和恵さん

仙台市の公立保育所で被災。施設によっては被害が大きく複数施設間での合同保育を行っている所もある。子どもたちの親戚がお亡くなりになられたという知らせが日常の事となっている。食材の確保が大変。お弁当持参の所もある。おにぎりや汁物というメニューが多い。ガソリン確保ができず電車も動いていないので片道1時間、徒歩で通勤している。

尾崎さん

塩釜・あゆみ保育園で被災。市社協へ行こうとして車で移動中に地震に遭いすぐ園へ。津波が園庭まで到達。このため、子ども達と近くの避難所へ。その日迎えのできない保護者が続出。20名近くがそのまま避難所に泊まる。もっとも遅かったお迎えは3日後だった。(交通手段がなかったことなどもあり)。24日から保育を再開しているが、現在登園は半分くらい。ガスが出ないため、汁物とおかず1品位の提供。おにぎり持参となっている。離乳食の子は登園していない。救援物資で粉ミルクが沢山。しかしそれを飲む赤ちゃんがいない…。保護者の中で職場を失う方が続出。ある職場では11名中5名が助かり、一晩焚火をして過ごした例、高齢者の送迎中車ごと津波に流され本人だけ助かり高齢者2名が行方不明となる例なども

多賀城市の浮島保育所(認可園)では、震災直後から避難所となり、ようやく保育が再開。水・ガスが使えないためお弁当持参。市内保育所では1階部分の浸水が2か所ある。

安達喜美子さん

仙台駅前近くの朝市センター保育園で被災。大きな揺れで建物の壁が崩れたりする中、避難所へ。ガスがまだ使えないため、ご飯と汁物を提供し、おかずを持参してもらっている。ガソリンがない事、スーパーに長蛇の列。

特集:新幹線などの復旧の動き、高まる

山形新幹線(東京～山形)・東北新幹線(東京～福島)4月始め復旧の見通しです。

東北自動車道・山形自動車道は通行可能です。東京～山形・大阪～山形・新潟～山形・山形～仙台などの高速バスは通常通りの運行です。

*仙台～東京間の高速バスもどんどん運行を始めています。

山形空港は大忙し

現在、臨時便も含め、山形～羽田：8 便、山形～伊丹：1 便、山形～千歳：2 便が就航しています。福島・庄内空港（山形）もフル稼働中です。仙台空港については現在、復旧工事が進行中です。（自衛隊などの発着は行われています）